

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

エペソ人への手紙一章二三節

## 2016(28)年 週 報

6月19日

聖  
言

「バイブルのパワー（信じる人々に伴うしるし）」 第三聖日

第 3460 号

信じてバプテスマを受ける者は、救われます。しかし、信じなければ罪に定められます。信じた人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、私の名によって悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、 マルコ 16:16, 17

主の弟子となる⑩

第一課 福音のメッセージ  
鍵となる引用を読んでみましょう。  
「今世紀の偉大な新約学者の一人であるCHドットは、初期の福音説教には、基になる基本的な型があったと述べています。もちろん必ずその通りしなければならぬというものではありませんでしたが、大まかな説教の基本構成アウトラインで、説教者たちが用いた型とは、大体次のようなものでした。「聖書にあらかじめ預言されていた通り、時が満ちた。神はご自身が定められたメシヤなるイエスを送られた。イエスは、辱められ、十字架で死なれた。神は墓の中からイエスを復活させてくださった。イエスは、今や主として神の右に着いておられる。このことの証明は、あなたがたもその働きを見ている聖霊である。このイエスが、世の終りに再びおいでになられる。それゆえ悔い改め、信じてバプテスマを受けなさい。これは、マイケル・グリーンが「福音宣教今昔」からの引用です。グリーンは宣教と初代教会を専門に学んだイギリス人です。(CIBTIE主の弟子より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一六年六月一二日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「キリストを畏れ尊ぶ」

「いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストのなによって父なる神に感謝しなさい。キリストを恐れ尊んで、互いに従いなさい。」(エペソ五ノ二〇、二一)

御霊に満たされるということは、互いに語り、互いに従う。仕え合うことである。話し合うこともせず、一方的に強制するのは御霊に満たされた生活ではない。

まず詩と賛美と霊の歌をもって互いに語りとあります。これは礼拝の姿そのものです。御霊にみたまされるならば、そこにおのずと賛美が溢れてきます。そして、キリストにより罪を赦され復活の生命をあたえられたことを証しするのです。これはとても哀切なことです。御霊にみたまされるといふのは受け身でなく、大胆な生命と賛美に溢れた生活です。

次に互いに従いなさい。とあるように、人を己より優れた存在とするのです。キリストも神でありながら、その存在をすてて己を虚しくして死に至るまでしたがわれました。それ故神は彼を高くあげて神の右に座したのです。

感謝と神を畏れる畏敬の念すなわち、モーセにここは聖なるところであるから靴を脱げといわれた、絶対的の神の臨在による畏敬の念である。御霊に満たされた人の生き様です。教会とは家庭生活である。家庭の家庭が教会である。そのなかで主にあって父なる神に感謝をささげ、神に畏敬の念をもち、互いに語り、互いに従うのが神の家庭なる教会の姿である。

二〇一六年六月一五日午後七時 祈祷会 山本牧師

「三週間喪に服す」(ダニエル連講第二三回)

「満三週間、私は、ごちそうも食はず、肉も葡萄酒も口にせず、また身に油も塗らなかつた。・・・そこに、ひとりの人がいて、亜麻布の衣を着、腰にはウファズの金の帯を締めていた。そのからだは緑柱石のようであり、その顔はいなずまのようであり、その目は燃えるたいまつ<sup>の</sup>ようであった。また、その腕と足は、磨きあげた青銅のようであつて、そのことばの声は群衆の声のようであつた。」(ダニエル一〇ノ三〜六)

「彼らの頭の上、大空のはるか上のほうには、サファイヤのよくな何か王座に似たものがあり、その王座に似たもののはるか上には、人間の姿に似たものがあつた。私が見ると、その腰と見えるところから上の方は、その中と回りとが青銅のように輝き、火のように見えた。その腰と見える所から下の方に、私は火のようなものを見た。その方の周りには輝きがあつた。」(エゼキエル一ノ二六〜二七)

「そこで私は、私に語りかける声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見えた。それらの燭台の真中には、脚まで足れた衣を着て、胸に金の帯を締めた。人の子のよくな方が見えた。その頭と髪の毛は、白い羊毛のように、また雪のように白く、その目は、燃える炎のようであつた。その足は、炉で精錬されて光り輝くしんちゆうのようであり、その声は大水の音のようであつた。」(黙示一ノ一二〜一五)

ダニエルは先在のイエスさまを見たのである。彼は主イエスの臨在に圧倒された。今はこのお方は罪人の身代わりに十字架におかかりになられ、私たちを救うために近づいてくださる。